

第13回CN専門委員会 次第

1. 進捗確認【資料配布】

2. CO2排出量 2022年度（2021年度実績）調査状況【報告】

3. 5団体連携活動【報告】

- ・ 5団体勉強会等の取組み状況と車工会の取組み

4. 経団連「モビリティ委員会」に向けた動向と対応【報告】

5. ※CJPTとの連携【報告】

- ・ #1 電力供給WG

※CJPT : Commercial Japan Partnership Technologies

2022.8.24

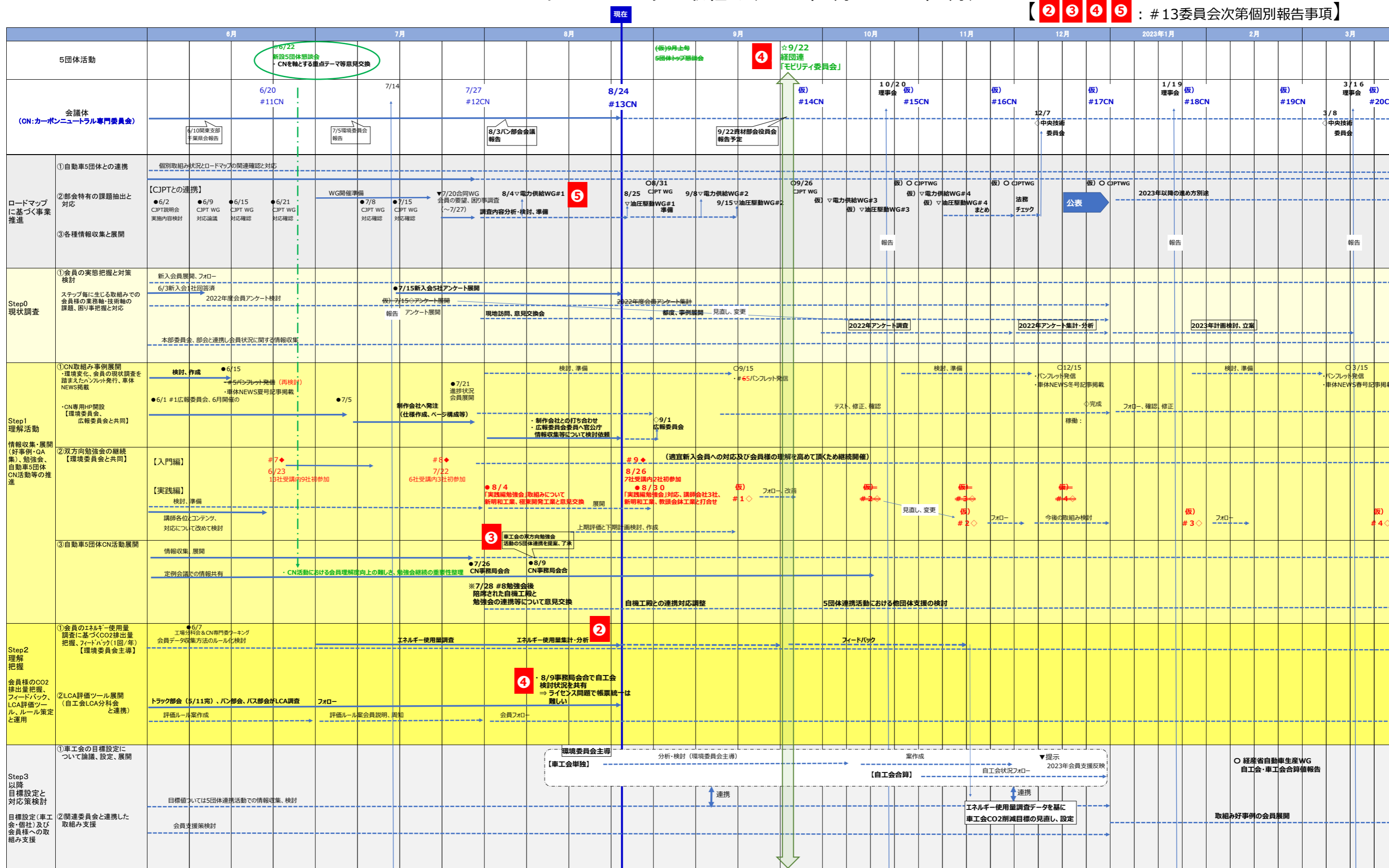
車工会 事務局

カーボンニュートラル専門委員会 出欠一覧：第13回 2022年8月24日(水)13:30～15:00

	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	宮内 一公	(会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	WEB
2	副委員長	田沼 勝之	(副会長)	新明和工業(株)	取締役 専務執行役員	WEB
3		矢野 彰一	(副会長、バン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	取締役社長	WEB
		柴田 和典	—	(株)矢野特殊自動車	取締役 品質保証部長	WEB
4		吉村 東彦	小型部会長	日産車体(株)	取締役社長	WEB
5	委員	増井 敬二	(副会長)	トヨタ車体(株)	取締役社長	WEB
		鈴木 真也	—	トヨタ車体(株)	経営企画部 主担当員	WEB
6		布原 達也	特装部会長	極東開発工業(株)	取締役社長	WEB
7		森 孝義	特種部会長	中京車体工業(株)	取締役社長	会議室
8		山田 和典	トラック部会長	山田車体工業(株)	取締役社長	WEB
9		田中 俊和	バン部会長	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長	WEB
10		辻 和弘	トレーラ部会長	東邦車輛(株)	取締役社長	WEB
11		石川 哲朗	バス部会長	ジェイ・バス(株)	取締役社長	WEB
12		小澤 賢記	資材部会長	ゴールドキング(株)	取締役社長	WEB
13	アドバイザー	木村 昌平	(相談役)	車体工業会	相談役	WEB
14	事務局	鈴木 良規		トヨタ自動車東日本(株)	第1開発領域長	WEB
15		富澤 浩紀		トヨタ自動車東日本(株)	プロジェクトリーダー	WEB
16		岡本 哲		トヨタ自動車東日本(株)	総務部 総合企画G GM	WEB
17		松井 賢一		トヨタ自動車東日本(株)	PE・環境部 部長	WEB
18		吉田 量年		車体工業会	専務理事	WEB
19		小森 啓行		車体工業会	業務部長	WEB
20		森田 敦次		車体工業会	業務部 次長	WEB

カーボンニュートラル取組み(2022年6月～2023年3月)

【2 3 4 5】: #13委員会次第個別報告事項



2022年度CO2排出量調査状況（2021年度実績）

2022年8月24日
CN専門委員会 事務局
工場環境分科会 事務局

■ 調査対象

正会員：205社/209社 【他団体所属、アンケート辞退会員を除く】

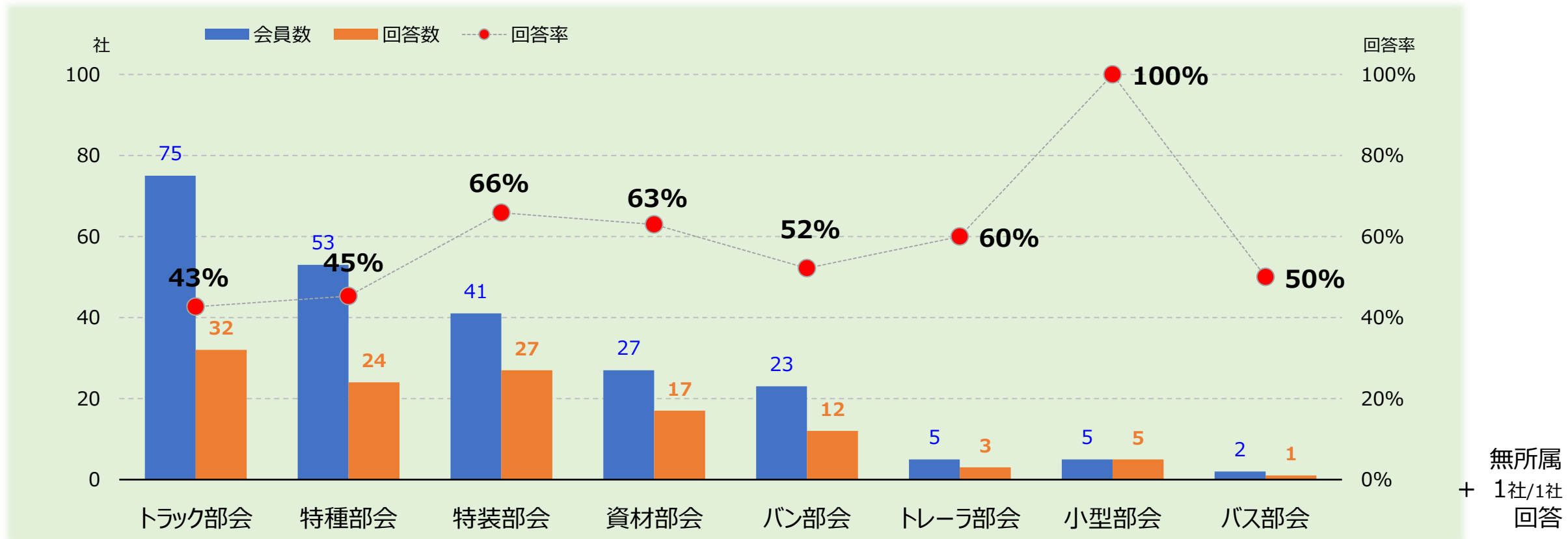
準会員：27社/105社 【他団体所属の会員を除く】

自工会連携
合計：232社（従来調査 39社 + 193社）

↑
前年度依頼 156社 + 新規 37社

■ 部会別回答状況（8/24現在）

回答合計：122社（53%）



5団体勉強会等の取組み状況と 車工会の取組み

2022.8.24
車工会 事務局

1. 各団体主催 CN関連 勉強会・講習会等の実施状況

1) 実施状況概要 (勉強会・講習会・支援事業)

団体名	項目	受講対象			講師		
		自団体		5団体	外部	事務局	会員
		限定	全会員				
自工会	CN勉強会	各社調達・CNに関する仕入れ先との連携実務者					(○)
	CNセミナー			○		調達部会長・事務局	
部工会	各種CN関連セミナー		○		○		
	CN基礎知識		○			CN事務局	
	事業転換支援事業			○ 素形材団体	○		
車工会	CN勉強会入門編		○				○
	CN勉強会実践編 (計画)		○				○
自機工	CN講演会	理事会社、技術委員会			○		
	他業種中小企業取組み事例紹介・講演会 (計画)		○				
	自機工会員企業具体的取組み事例発表 (計画)		○				○
自販連	CN基礎知識	CN部会委員			○		
	オンライン研修		○		○		

- 自工会 …… **5団体対象のセミナー**開催で関連情報を展開され、**全体の知識向上**に寄与
- 部工会、車工会、自機工、自販連 …… 会員構成を意識し、**全会員対象の講習会等**を独自に実施または計画
- 部工会 …… **支援事業として素形材団体も加え、他団体連携活動**も推進

**現状は情報
展開主体**

1. 各団体主催 CN関連 勉強会・講習会等の実施状況

2) 会員への調査活動の状況

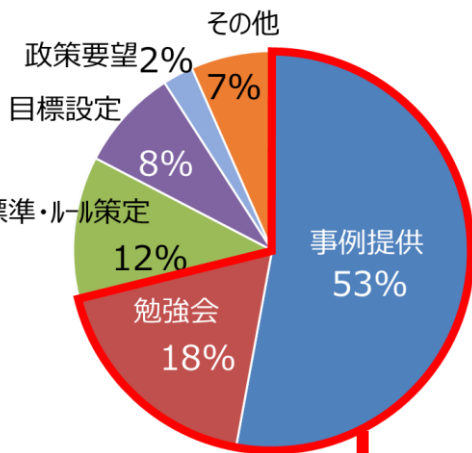
- 部工会、車工会、自機工、自販連
- … 会員毎に規模が異なっていることもあり、それぞれ**実態調査で課題、問題を把握され、支援策を検討、推進**されておられる

団体名	項目
自工会	—
部工会	会員実態調査
車工会	会員実態調査
自機工	会員実態調査（計画）
自販連	CO2排出量等に関する会員実態調査

3) 車工会CNアンケート回答

Q：車工会への期待すること

回答：112社

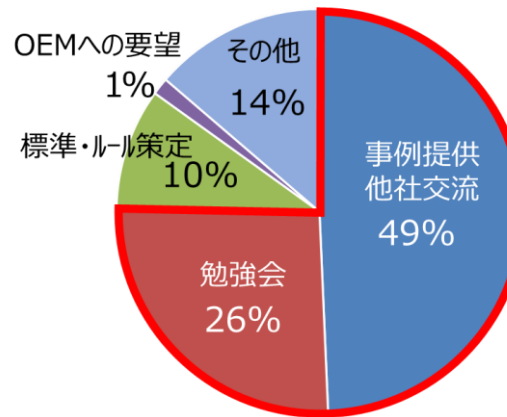


区分	企業規模	主なコメント
中小企業	中小企業	推進するための具体例などを示して欲しい
中小企業	中小企業	方法の提案や他社の事例を開示して欲しい
中小企業	中小企業	改善提案など、今日からでも出来る情報の共有
中小企業	中小企業	改善提案など、今日からでも出来る事など、情報の共有
中小企業	中小企業	他社の導入事例（投資対効果）、補助金・助成金情報
中小企業	中小企業	同業他社における削減事例を紹介
中小企業	中小企業	架装、艀装メーカーとしてやるべきことを勉強する機会
中小企業	中小企業	中小企業でもうまく運営出来るアドバイス
中小企業	中小企業	経営を無駄に圧迫させる方向には進んでほしくない
中小企業	中小企業	業務への負担が極力かからないようなシステム運用
中小企業	中小企業	会社規模別の目標値を設定

判断材料の提供期待が約70%

Q：CN活動の進め方への意見等

回答：71社



区分	企業規模	主なコメント
中小企業	中小企業	CN活動の方向性が見える技術・事例、失敗例の配信希望
中小企業	中小企業	架装するシャシー自体や取引がどう変わるのか影響が心配
中小企業	中小企業	限られた人員の中では非常に厳しいのでサポートしてほしい
中小企業	中小企業	小規模企業にも実施可能な方法で進めてほしい
中小企業	中小企業	部会別、業種別の活動が必要不可と考える
中小企業	中小企業	主導的にCN取組みは厳しいため、可能なメニューなどを教授してほしい
中小企業	中小企業	何をすることが、CNに繋がるかを教えて欲しい
大企業	大企業	CN勉強会や素材等紹介、展示会を検討
大企業	大企業	国の目標に対して車工会の目標を明確にして活動計画を作成する必要がある
中小企業	中小企業	CN活動の推進には初期投資が不可欠で、中小企業にとっては大きな負担、助成金制度の導入など環境作りが必要
中小企業	中小企業	先行する欧州より効果的な取り組みを自動車5団体に期待

中小企業の皆さんから情報・事例共有、勉強会開催等、自社の実情を踏まえた期待、要望

2. 当面の車工会活動及びお願い

- CN対応において、**車工会は次のような内容に取り組んでいくことで、5団体事務局連携の充実に繋がればと考えております。**

- ◆ 中小・中堅企業支援として、**情報提供の充実に加え、自社の行動に移してもらう活動として、会員様の協力を得て相互コミュニケーションを図りながらの勉強会を継続【勉強会】**
⇒ 5団体連携活動として、中小会員様の比率が比較的高い、**自機工殿とも相談させて頂き、車工会勉強会の有効活用、更には他団体への拡大も検討【勉強会を通じた他団体との連携検討】**
- ◆ 自社の行動を進めていくうえでの疑問、問題解決に向け車工会会員を対象に、**車工会事務局に相談窓口を設置【会員支援】**
- ◆ これら**活動状況につきましては、5団体で共有**させて頂き、内容の見直し等を実施【5団体連携】

中小会員様のCNに向けた「行動」へ

お願い

- ★ 車工会の取組みだけでは十分ではなく、**4団体の理解**と今後の活動を通じ、課題対応における**情報提供等**について、**各団体のご協力、ご支援**
- ★ 今後の状況を確認しながら**5団体事務局連携の相談窓口**の検討

8/9 5団体
事務局会合
で**了承**

経団連モビリティ委員会 について

2022.8.24
車工会 事務局

1. モビリティ委員会のテーマ・実施事項

- ▽ 自動車産業は「日本の 基幹産業」として日本経済への貢献を果たしてきたが、**今後も550万人を守り、資源のない日本の競争力強化に貢献**をしてまいりたい。
- ▽ 裾野の広いモビリティを軸に、各業界と力を合わせ、**経済・雇用・投資等を促進していくために、550万人を超えて日本経済界全体で取り組むべく、経団連の皆様と共に活動を進めてまいりたい。**

2. モビリティ委員会開催概要とメンバー

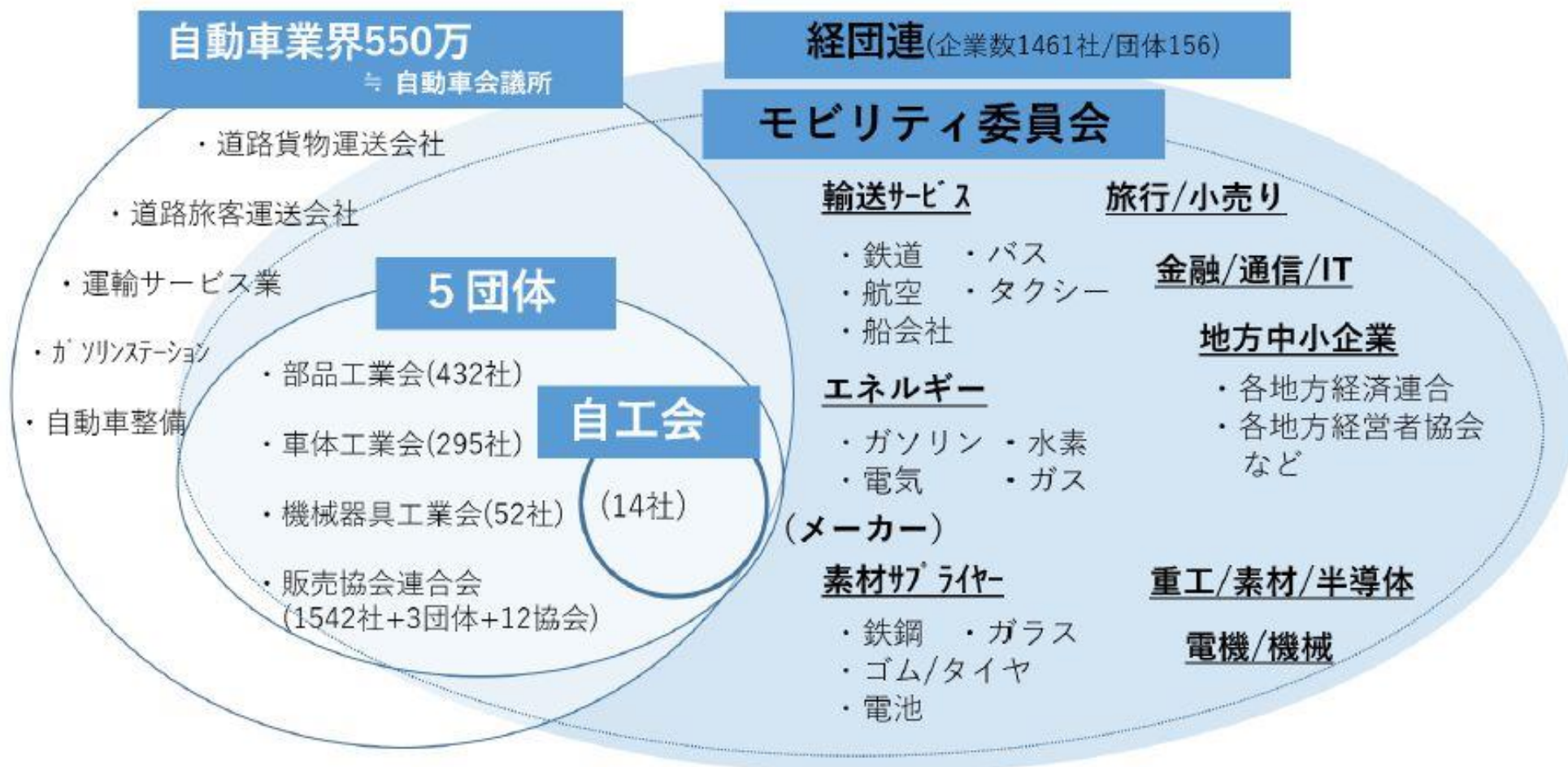
- 第1回 委員会は以下にて開催を検討中（正式案内 8月下旬）
- 「①自動車5団体」と「②自動車産業550万人の企業」をコアメンバーとしてスタートし、「③モビリティで関連する新しい仲間」の企業へ広げる

- **日時：2022年9月22日（木）**
10：00～11：00
- **場所：経団連会館 会議室（対面）**
／オンライン併催
- **アジェンダ（案）**
 - ① **自工会・5団体の活動紹介**と委員会発足の趣旨
 - ② **「モビリティ産業の成長と課題」**（意見交換）
 - ③ **JAPANオールインダストリーショー**について
（東京モーターショーの今後の展開についてのご紹介）

		人数 イメージ	メンバーの考え方	
コア メン バー	委員長、副委員長	2名	■ 豊田委員長（自工会）、有馬副委員長（部工会）	
	①自動車5団体	5名	■ 自動車5団体の会長	
	②550万人 企業/団体	素材メーカー様	5名	■ 鉄・ゴム・硝子・タイヤなどの業界団体
		エネルギー 関連企業様	5名	■ 石油・ガス・電力などの業界団体
		輸送関連企業様	2名	■ タクシー・トラックなどの業界団体
	③モビリティで新たに連携する企業様	5- 10名	■ 旅行、通信、IT、鉄道、航空、金融などの会社	
合計	20- 25名			

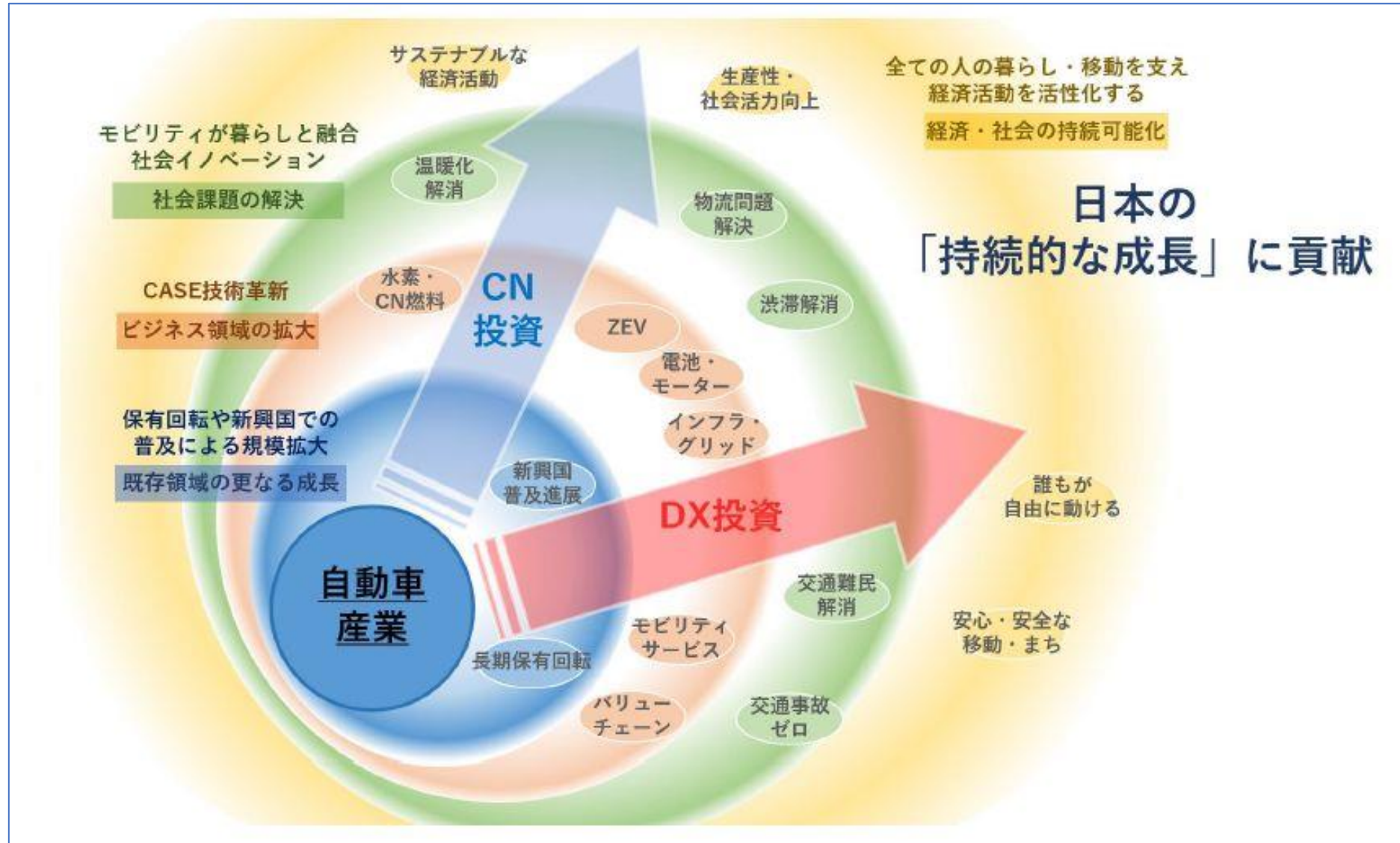
3. 経団連の皆様と共に、モビリティ委員会で活動していく考え方

- 自動車^がモビリティ産業として成長するには、自動車5団体と自動車550万人から仲間を広げ、従来の自動車業界を超えた、より多くの企業の皆様と一緒に進める必要があると認識。
- そのために、経団連の皆様と共に、モビリティ委員会で活動を進めてまいりたい。



3. 経団連の皆様と共に、モビリティ委員会で活動していく考え方

＜参考＞モビリティを軸とした新たな価値創出・成長イメージ



車工会として
**会員様の
諸活動**を通じ
貢献に繋げて
いきたいと考えて
おり、**更に連携を
強化**させて頂きたく
よろしくお願ひ
致します

4. 5団体活動 推進スケジュール（案）

	7月	8月	9月	10月
外部会議			◇9/22 経団連 「モビリティ委員会」	政府モビリティ 懇話会（仮称）
①自工会	▼7/21 正副会長会議	▼8/10 ・総合政策委員会 ・委員長連絡会	▼9/8 ・総合政策 委員会 ・委員長連絡会 ▼9/15 ・理事会	
②5団体	会長補佐を中心、進捗管理			
モビリティの 成長	モビリティを軸とした成長のストーリー策定 (成長に向けたモビリティ産業の重要性・波及効果 等)			進捗報告
CN 見える化 ⇒ CO2排出 量調査	サプライチェーン（SC）全体での見える化 に向け、統一基準を自工会内で論議		調整	進捗報告
車工会	◆7/27 CN推進委員会	◆8/24 CN推進委員会	仮) CN推進委員会	10/20理事会 仮) CN推進委員会

「モビリティを軸にした成長と課題」紹介

提案内容最終化

「モビリティを軸にした成長と課題」を提案

5. 車工会 中小会員の困り事と対応

	困り事	区分	対応
1	人材不足	部会活動	・ 架装メーカーアピールのための プロモーションビデオの作成 、配信は個社対応
		個社対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元高校等のインターンシップ受入れ、定期的な人材情報交換 ・ 地元大学との生産性向上に関する連携、卒業論文テーマのサポート ・ 外部団体主催の会社説明会への参画 ・ 時短対応策としてのパート従業員の採用拡大 ・ 独身寮の整備
2	人材育成	車体工業会主催の教育プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地/現物による技能系社員研修 ・ 管理監督者層合同マネジメント研修 ・ 自動車5団体活動によるリーダー育成研修、生産性向上支援、各種セミナーの開催
		部会活動	・ 工場見学会の開催
3	原材料価格の高騰	個社対応	・ お客様との 価格改定交渉 、業務効率化等による 原低活動
4	シャシ・架装部品の納入遅れ	個社対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客様との納期調整 ・ 雇用調整助成金の活用 ・ 残業削減 ・ 社内研修、教育の促進 ・ 点検・整備業務へのシフト（個社対応）
5	CNに向けた具体的な取り組み内容	車工会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ CN勉強会の開催、パンフレット作成・配布 ・ CO2排出量の見える化、環境委員会との連携による現場改善支援活動 等